

世界的な社会的責任投資指標



FTSE4Good

FTSE Russellによる、ESGに関する評価基準を満たす企業を構成銘柄とした指標「FTSE4Good Index Series」に選定。2017年6月末現在、世界で883社(うち日本企業は148社)が選ばれている。



世界的な社会的責任投資(SRI)株式指数である「Dow Jones Sustainability Index(DJSI)」の、アジアパシフィック地域の構成銘柄「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」に選定。

GPIFが選定する3つのESG指数



FTSE Blossom Japan

ESGに関する多様な基準を満たしている日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、業種ニュートラルになるように設定されているESG指標「FTSE Blossom Japan Index」に選定。



日本株の時価総額上位500銘柄のうち、MSCIのESG格付けが最も低いCCC銘柄などを対象外とし、各業種の中から格付けが相対的に高い銘柄を選別して構成するESG指標「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」に選定。



日本株の時価総額上位500銘柄のうち、国際産業分類基準における各業種の中で、性別多様性に優れた銘柄を対象に構築されたESG指標「MSCI日本株女性活躍指数」に選定。



CO₂など温室効果ガスの排出量管理のほか、気候変動におけるリスクと機会に対するマネジメントなどが認められ「CDP 2017 気候変動」調査において、2年連続でA-ランクに認定。



国内上場企業約4,000社の中から、「企業統治」「環境」「社会性」「人材活用」をポイントとし、社会性に優れた企業と評価して選定した約150社の株価を指数化した社会的責任投資株価指数「モーニングスター社会的責任投資株価指数」の構成銘柄に選定。



経営トップを中心としたIR活動の積極化、投資家などと企業価値を「共創」という姿勢のIR活動、ESG関連・統合報告書に関する説明会開催などの取組みが評価され、2017年度「IR優良企業賞」に選定。



「小売支援のクレジットカードという位置付けのもと、発行時の利便性を確保し、顧客と一緒に信用を創造するという方針で30代以下の顧客を中心に持ち、リボルビング払い利用率が高い」という点が高く評価され、第16回「ポーター賞」を受賞。

格付投資情報センター(R&I)

金融債務についての総合的な債務履行能力に対する格付けとして、A-の評価を獲得。

アメリカ「Institutional Investor」において、「日本のベストIRカンパニーランキング」の小売セクター上位に選出

Honored Companies	総合第3位
Best IR Companies	総合第1位、バイサイド第1位、セルサイド第2位
Best CEO	バイサイド第3位
Best Analyst Days	総合第2位

米国金融専門誌「Institutional Investor」が日本の大手上場企業を選定対象に、世界の機関投資家・証券アナリストの投票結果をもとに発表するもので、2017年は機関投資家・証券アナリスト1,007人368機関が投票。



生活習慣病やメンタルヘルス不調対策だけでなく、活力の高い状態をめざすオフェンス(攻め)の健康対策についても評価され、「健康経営優良法人〜ホワイト500〜」に選定。



女性活躍の重点指標としての「女性イキイキ指数」を設定したことなどが高く評価され、「SMBCなでしこ融資」において、「女性活躍の先進企業」の評価を獲得。



「従業員の子育てを高い水準でサポートする企業」として、「くるみん」認定を受けた企業の中でも、仕事と育児の両立支援制度の導入や利用がすすみ、高い水準の取組みをおこなっている企業を評価する「プラチナくるみん」認定を取得。



短期育児休業制度の導入や男性の育児休業取得率の大幅な上昇が評価され、育児を積極的におこなう男性＝「イクメン」を応援し、男性の育児休業取得を促進するイクメンプロジェクトの一環として表彰する「イクメン企業アワード」において、2014年の「特別奨励賞」受賞に続き、2016年には「グランプリ」を受賞。

日経 DUAL「共働き子育てしやすい企業グランプリ」
 社内の多様性の理解・浸透を推進したことや、男性育児取得率向上・残業削減に向けた取組み、経営戦略に「育児中社員の両立支援」や「働き方改革」という視点が盛り込まれている点などが評価され、2016年、2017年と2年連続で「特別奨励賞」を受賞。



一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会が主催する、高齢者や障害者など多様な人々に心地良い取組みを推進している企業・団体を表彰する「ユニバーサルマナーアワード2017」の「インバクト部門」に選出。



労働協約「差別待遇の禁止」に「性自認、性的指向を理由に差別的取扱いをしない」という文言の追加、LGBTに関する社内相談窓口の設置などの取組みが評価され、「work with Pride」が策定する「PRIDE指標」において、2016年の「シルバー」受賞に続き、2017年は最高評価である「ゴールド」を受賞。



企業の環境経営度を評価し、優れた企業を選定し、融資条件を設定する「DBJ環境格付」において、最高ランク「Aランク」の格付を取得するとともに、格付評価が傑出して高いモデル企業のみが該当する「特別表彰」を受賞。



「ラクチンきれいシューズ」の「カーボン・オフセット」の取組みが評価され、環境に配慮した商品として「第6回カーボン・オフセット大賞」の「優秀賞」を、アパレル商品で初めて受賞。



GP認定制度を積極的に取り入れ、環境の保全に取組んだことが評価され、一般社団法人日本印刷産業連合会が実施している「GP環境大賞」において、2015年と2016年は「大賞」を受賞、2017年は「準大賞」を受賞。



環境報告書や環境活動レポートの作成・公表を通じた、環境コミュニケーションの積極的な取組みが評価され、「第20回環境コミュニケーション大賞」の環境報告書部門において、当社グループが発行する「共創経営レポート 2016」「共創CSRレポート 2015」が「優良賞」を受賞。



米国の独立評価機関 MerComm, Inc. が主催し、世界各国の企業等を財務面、経営面、企画やデザインなどに至るまで公平に審査・評価するアンリアルレポートのコンテスト「International ARC Awards 2017」において、33カ国1987作品が審査され、丸井グループの「共創サステナビリティレポート2016(英語版)」が「銀賞」を受賞。